

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-298774

(43)Date of publication of application : 29.10.1999

(51)Int.Cl. H04N 5/225
G03B 17/56
G03B 19/02

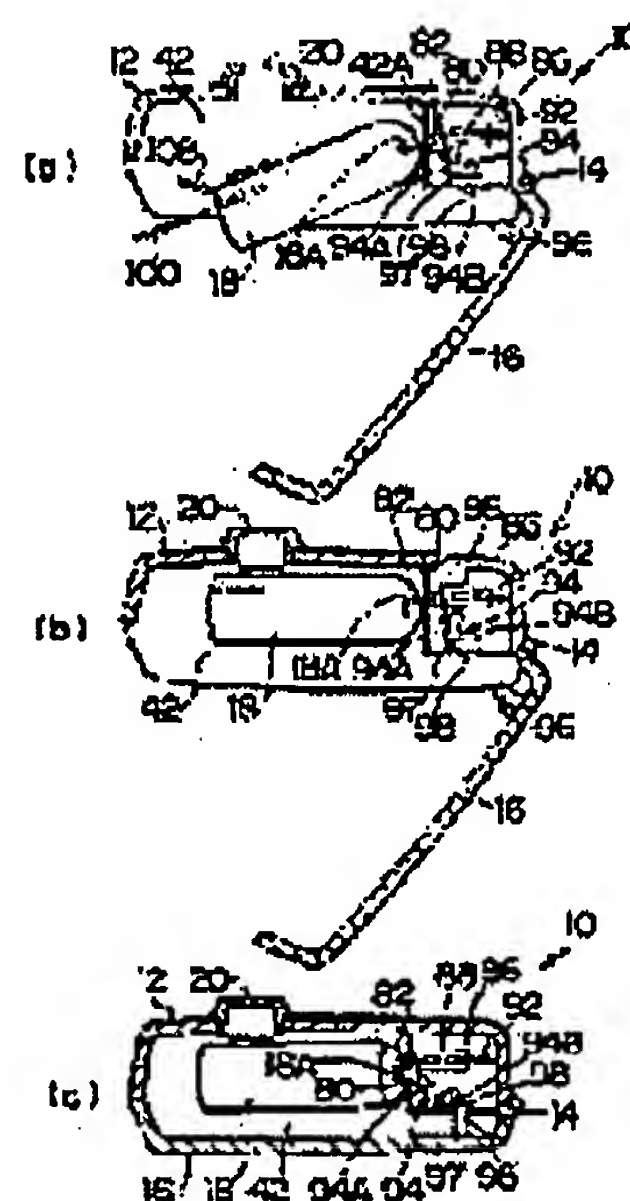
(21)Application number : 10-099188 (71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD
(22)Date of filing : 10.04.1998 (72)Inventor : MISAWA MITSUFUMI

(54) ACCESSORY PACK FOR CAMERA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an accessory pack for the camera which makes it easy to house the camera.

SOLUTION: When a cover 16 is closed, while the digital camera 18 is housed in the camera housing part 42 of an accessory pack main body 12, a boss 96 provided inside the cover 16 presses against a lever 94 provided on the side of the accessory pack main body 12 to swing it. The swung lever 94 presses the rear end part of a connector 80 for connection to project the connector 80 for connection from a connector projection hole 82 and then connect it to a digital output terminal 18A of the digital camera 18. When the cover 16 is opened, the lever 94 is released from being pressed by the boss 96, and the connector 80 for connection is retracted into the connector projection hole 821 with the tensile force of a tension spring 92 and released from being connected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.07.2004

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3858252

[Date of registration] 29.09.2006

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-298774

(43)公開日 平成11年(1999)10月29日

(51)Int.Cl.⁴

識別記号

F1

H04N 5/225

H04N 5/225

F

E

G03B 17/56

G03B 17/56

H

19/02

19/02

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全8頁)

(21)出願番号

特願平10-99188

(71)出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社

神奈川県南足柄市中沼210番地

(22)出願日

平成10年(1998)4月10日

(72)発明者 三沢 充史

埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写真フイルム株式会社内

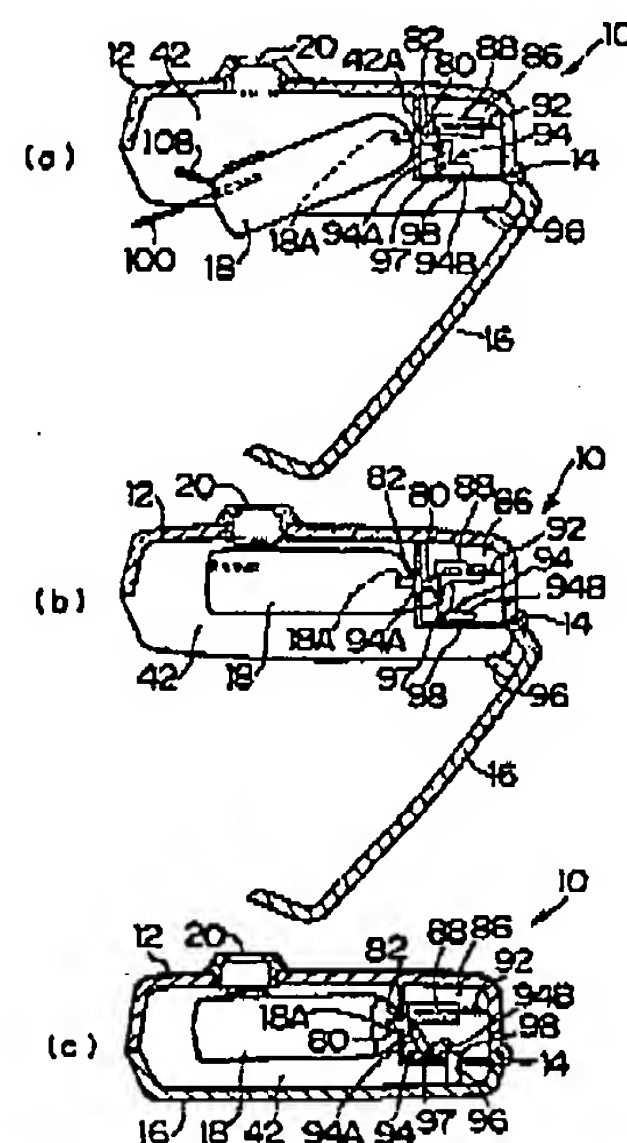
(74)代理人 弁理士 松浦 憲三

(54)【発明の名称】 カメラのアクセサリバック

(57)【要約】

【課題】カメラの収納作業を簡単に行うことができるカメラのアクセサリバックを提供する。

【解決手段】デジタルカメラ18をアクセサリバック本体12のカメラ収納部42に収納してカバー16を閉めると、そのカバー16の内側に設けられたボス96がアクセサリバック本体12側に設けられたレバー94を押圧して揺動させる。揺動したレバー94は接続用コネクタ80の後端部を押圧して、該接続用コネクタ80をコネクタ突出口82から突出させ、デジタルカメラ18のデジタル出力端子18Aに接続させる。カバー16を開けると、ボス96によるレバー94の押圧が解除され、接続用コネクタ80は引張バネ92の引張力でコネクタ突出口82内に退避し、接続が解除される。



(2)

特開平11-298774

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラを収納するアクセサリパック本体と、
前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、

前記アクセサリパック本体に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納すると、そのカメラに設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【請求項2】 カメラを収納するアクセサリパック本体と、
前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、

前記カバーに設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納して前記カバーを閉めると、そのカメラに設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【請求項3】 カメラを収納するアクセサリパック本体と、
前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、

前記アクセサリパック本体内の側面部から出脱自在に設けられ、前記アクセサリパック本体に収納されたカメラの側面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、

前記接続用コネクタを前記アクセサリパック本体内の側面部から退避する方向に付勢する付勢手段と、

前記アクセサリパック本体に揺動自在に設けられ、揺動させることにより前記接続用コネクタを押圧して前記アクセサリパック本体内の側面部から突出させ、前記アクセサリパック本体に収納された前記カメラの入出力端子に接続する揺動部材と、

前記カバーに設けられ、前記カバーが閉められると前記揺動部材を押圧して揺動させる押圧部材と、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【請求項4】 カメラを収納するアクセサリパック本体と、
前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、

前記アクセサリパック本体内の前面部に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納すると、そのカメラの正面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【請求項5】 カメラを収納するアクセサリパック本体と、
前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、

前記カバーの内側面に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納して前記カバーを閉めると、そのカメラの背面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はカメラのアクセサリパックに係り、特にデジタルカメラ、銀塩カメラ等を収納するアクセサリパックに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種のアクセサリパックとしては、カメラを収納するアクセサリパック本体と、このアクセサリパック本体にバックル等の開閉機構によって取り付けられるカバーとから構成されたものがある。ところで、このアクセサリパックにカメラを収納する場合、アクセサリパックとカメラとを電氣的に接続するために、カメラの収納時にアクセサリパックに備えられたコネクタをカメラの操作者が手で持って、カメラの入出力端子に接続する必要がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、従来のアクセサリパックでは、カメラの収納作業が極めて面倒であった。本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、カメラの収納作業を簡単に行うことができるカメラのアクセサリパックを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本願請求項1に係る発明は、カメラを収納するアクセサリパック本体と、前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、前記アクセサリパック本体に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納すると、そのカメラに設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【0005】本願請求項1に係る発明によれば、カメラをアクセサリパック本体に収納すると、そのカメラに設けられた入出力端子がアクセサリパック本体に設けられた接続用コネクタに接続される。上記目的を達成するために、本願請求項2に係る発明は、カメラを収納するアクセサリパック本体と、前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、前記カバーに設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納して前記カバーを閉めると、そのカメラに設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、
からなることを特徴とするカメラのアクセサリパック。

【0006】本願請求項2に係る発明によれば、カメラをアクセサリパック本体に収納してカバーを閉めると、そのカバーに設けられた接続用コネクタが、カメラ

(3)

特開平11-298774

に設けられた入出力端子に接続される。上記目的を達成するために、本願請求項3に係る発明は、カメラを収納するアクセサリパック本体と、前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、前記アクセサリパック本体内の側面部から出沒自在に設けられ、前記アクセサリパック本体に収納されたカメラの側面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、前記接続用コネクタを前記アクセサリパック本体内の側面部から退避する方向に付勢する付勢手段と、前記アクセサリパック本体に揺動自在に設けられ、揺動させることにより前記接続用コネクタを押圧して前記アクセサリパック本体内の側面部から突出させ、前記アクセサリパック本体に収納された前記カメラの入出力端子に接続する揺動部材と、前記カバーに設けられ、前記カバーが閉められると前記揺動部材を押圧して揺動させる押圧部材と、からなることを特徴とする。

【0007】本願請求項3に係る発明によれば、カメラをアクセサリパック本体に収納してカバーを閉めると、そのカバーに設けられた押圧部材が揺動部材を押圧して揺動させる。揺動した揺動部材は接続用コネクタを押圧して、該接続用コネクタをアクセサリパック本体内の側面部から突出させ、その接続用コネクタをアクセサリパック本体に収納されているカメラの入出力端子に接続させる。また、カバーを開けると、押圧部材による揺動部材の押圧が解除されるとともに、付勢手段によって接続用コネクタがアクセサリパック本体内の側面部から退避する方向に付勢される。これにより、接続用コネクタがカメラの入出力端子から外れ、接続が解除される。

【0008】また、上記目的を達成するために、本願請求項4に係る発明は、カメラを収納するアクセサリパック本体と、前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、前記アクセサリパック本体内の前面部に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラを収納すると、そのカメラの正面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、からなることを特徴とする。

【0009】本願請求項4に係る発明によれば、カメラをアクセサリパック本体に収納すると、そのカメラの正面部に設けられた入出力端子がアクセサリパック本体内の前面部に設けられた接続用コネクタに接続される。また、カメラをアクセサリパック本体から取り出すと、入出力端子から接続用コネクタが外れ、接続が解除される。

【0010】また、上記目的を達成するために、本願請求項5に係る発明は、カメラを収納するアクセサリパック本体と、前記アクセサリパック本体にヒンジを介して回動自在に支持されたカバーと、前記カバーの内側に設けられ、前記アクセサリパック本体に前記カメラ

を収納して前記カバーを閉めると、そのカメラの背面部に設けられた入出力端子に接続される接続用コネクタと、からなることを特徴とする。

【0011】本願請求項5に係る発明によれば、カメラをアクセサリパック本体に収納してカバーを閉めると、そのカバーの内側に設けられた接続用コネクタが、カメラの背面部に設けられた入出力端子に接続される。また、カバーを開けると、接続用コネクタが入出力端子から外れ、接続が解除される。

【0012】

【発明の実施の形態】以下添付図面に従って本発明に係るカメラのアクセサリパックの好ましい実施の形態について詳説する。図1及び図2はそれぞれ本発明に係るカメラのアクセサリパックを前方及び後方から見た斜視図であり、図3は図2に示したアクセサリパックのカバーを開けた状態を示す斜視図である。

【0013】これらの図面に示すように、このアクセサリパック10は、主としてアクセサリパック本体12と、アクセサリパック本体12にヒンジ14を介して回動自在に支持されたカバー16とから構成されており、図3に示すデジタルカメラ18を収納することにより全体として防水型デジタルカメラとして機能できるようになっている。

【0014】図1に示すように、アクセサリパック本体12の前面には、デジタルカメラ18の撮影レンズに対向する位置に保護ガラス20が水密性をもって固定されている。また、アクセサリパック本体12の前面には、アクセサリパック本体12に内蔵されたストロボ装置28の発光窓30及び発光量調整用の調光センサの受光窓32が設けられている。

【0015】アクセサリパック本体12の上面には、シャッターボタン34と、デジタルカメラ18の各種の状態を表示する液晶表示パネルを透視するための透明窓部36と、防水構造の光学ファインダ（図示せず）を取り付けるための取付けシュー38とが設けられている。また、アクセサリパック本体12の図1上の右側面には、カバー開つまみ40が設けられている。

【0016】図3に示すように、アクセサリパック本体12の内側には、デジタルカメラ18を収納するカメラ収納部42と、アクセサリパック10の電源として使用されるバッテリー44（複数本の電池を収納する電池ケース又は専用の二次電池）を収納するバッテリー収納部46とが形成されている。また、アクセサリパック本体12の内側には、デジタルカメラ18を取り付けるためのカメラ取付部材48がアクセサリパック本体12に対して回動自在に配設されている。このカメラ取付部材48は、デジタルカメラ18の三脚ネジ穴と螺合するカメラ取付ネジ50と、デジタルカメラ18の回り止め及び位置決め用のピン52とが設けられており、これらのカメラ取付ネジ50及びピン52によってデジタ

(4)

特開平11-298774

ルカメラ18を固定できるようになっている。

【0017】一方、図2に示すようにカバー16の背面には、デジタルカメラ18の背面に設けられた撮影画像、再生画像等を表示する液晶モニタ60（図3参照）を透視するための透明窓部62、電源スイッチ64、モードダイヤル66、露出補正ボタン68、ストロボボタン70及び表示ボタン72が設けられている。また、図3に示すようにカバー16の内側には、防水用のパッキング74、閉成時にカバー16をロックするためのフック75等が設けられている。このカバー16は、前述したようにヒンジ14を介してアクセサリパック本体12に開閉自在に支持されており、閉成時にカバー16のフック75がアクセサリパック本体12側の係合部（図示せず）と係合し、この状態でパッキング74によりアクセサリパック本体12内の水密性を保持できるようになっている。

【0018】なお、カバー16がロックされている場合に、図3に示すようにカバー開つまみ40を起し、反時計回り方向に回すと、カバー16のロックを解除することができる。また、カバー16の背面に設けられたモードダイヤル66及び各種のボタンは、図3に示すフレキシブル配線パターン78を介して図示しないコントロール回路と接続されており、また、アクセサリパック本体12の上面に設けられたシャッターボタン34もコントロール回路に接続されている。このコントロール回路は、これらのボタン類の操作に応じたコントロール信号を接続用コネクタ80を介してデジタルカメラ18に出力する。

【0019】この接続用コネクタ80は、アクセサリパック本体12のカメラ収納部42にデジタルカメラ18を収納してカバー16を閉めると、カメラ収納部42の右側面下部に形成されたコネクタ突出部82から突出して、デジタルカメラ18の右側面下部に形成されたデジタル入出力端子18Aに差し込まれる。そして、カバー16を開けるとデジタル入出力端子18Aから引き抜かれ、コネクタ突出部82の内側に退避する。このように、接続用コネクタ80はカバー16の開閉動作に応じてコネクタ突出部82から出沒し、カメラ収納部42に収納されたデジタルカメラ18のデジタル入出力端子18Aと接続される。この接続用コネクタ80をコネクタ突出部82から出沒させる機構は、次のように構成される。

【0020】前記接続用コネクタ80は、前記カメラ収納部42の右側面を形成する仕切板42Aと仕切板84とによって形成される空間86内に配設されている。この空間86内には、図4に示すように、ガイドプレート88が配設されており、このガイドプレート88の先端に接続用コネクタ80が固着されている。ガイドプレート88には、一対の長孔88A、88Aが形成されており、この長孔88A、88Aには前記空間86の底面8

6Aに立設された一対のガイドピン90、90が嵌入されている。ガイドプレート88は、この一対の長孔88A、88Aとガイドピン90、90との作用によって前記空間86内を所定範囲で横方向にスライドする。そして、このガイドプレート88がスライドすることにより、接続用コネクタ80がコネクタ突出部82から出沒する。すなわち、ガイドプレート88が図4中左方向にスライドすることによって、接続用コネクタ80がコネクタ突出部82からカメラ収納部42側に突出し、右方向にスライドすることによって接続用コネクタ80が空間86内に退避する。

【0021】このスライド自在なガイドプレート88には、引張バネ92が連結されており、常に接続用コネクタ80が空間86内に退避する方向（図4中右方向）に付勢されている。また、前記空間86内には、L字状に形成されたレバー94がピン97によって揺動自在に支持されている。このレバー94の一方側の腕94Aの先端は接続用コネクタ80の後端部に係合しており、レバー94を揺動させると、この一方側の腕94Aの先端が接続用コネクタ80の後端部を押圧して、コネクタ突出部82から接続用コネクタ80を突出させる。

【0022】ここで、前記レバー94は、他方側の腕94Bを押圧することにより揺動する。そして、この他方側の腕94Bはカバー16を開めることにより、そのカバー16の内側面に取り付けられたボス96に押圧される。すなわち、カバー16を開めると、そのカバー16の内側面に設けられたボス96が、仕切板84に形成された孔98から空間86内に入り込み、レバー94の他方側の腕94Bを押圧する。そして、このボス96が他方側の腕94Bを押圧することにより、レバー94が揺動し、接続用コネクタ80の後端部を押圧してコネクタ突出部82から突出させる。

【0023】また、ボス96はカバー16を開けることにより、仕切板84に形成された孔98から引き抜かれ、レバー94の押圧を解除する。そして、このレバー94の押圧が解除されることにより、接続用コネクタ80は引張バネ92の引張力で空間86内に退避する。このように、接続用コネクタ80はカバー16の開閉動作に応じてコネクタ突出部82から出沒する。そして、カメラ収納部42に収納されたデジタルカメラ18のデジタル入出力端子18Aと接続される。

【0024】なお、このアクセサリパック10に収容されるデジタルカメラ18は、上述したように、その右側面下部にデジタル入出力端子18Aが形成されている。また、このデジタルカメラ18は、カメラ取付部材48に取り付けた状態でスマートメディア（メモリーカード）100の挿入ができるようにするために、図3に示すように、左側面部にスマートメディア100の挿入口102が形成されている。

【0025】なお、図3において、104はビデオ出力

(5)

特開平11-298774

端子、106はDC入力端子、108はスマートメディア100の挿入口102を開閉するスマートメディアカバーである。次に、前記のごとく構成された本実施の形態のアクセサリパック10の作用について説明する。

【0026】まず、アクセサリパック10にデジタルカメラ18を収納する場合について説明する。撮影者は、まず、カバー16を開け、図3に示すカメラ取付部材48をアクセサリパック本体12から引き出す。そして、そのカメラ取付部材48に設けられたカメラ取付ネジ50及びピン52によってデジタルカメラ18をカメラ取付部材48に固定する。

【0027】ここで、スマートメディア100の装着が必要な場合は、図5(a)に示すように、デジタルカメラ18のスマートメディアカバー108を開け、その挿入口102からスマートメディア100を挿入する。次に、デジタルカメラ18をアクセサリパック本体12に向けて押し込む。これにより、デジタルカメラ18は、図5(b)に示すように、アクセサリパック本体12のカメラ収納部42に収納される。

【0028】次に、図5(c)に示すように、カバー16を閉じ、そのカバー16のフック75をアクセサリパック本体12側の係合部に係合させる。このカバー16の開動作に伴って、カバー16の内側面に取り付けられたボス96が、仕切板84に形成された孔98から空間86内に入り込み、レバー94の他方側の腕94Bを押圧する。そして、このボス96が他方側の腕94Bを押圧することにより、レバー94が揺動し、レバー94の一方側の腕94Aが接続用コネクタ80の後端部を押圧する。これにより、接続用コネクタ80がコネクタ突出口82から突出し、カメラ収納部42に収納されたデジタルカメラ18のデジタル入出力端子18Aに接続される。

【0029】このように、デジタルカメラ18をアクセサリパック本体12のカメラ収納部42に収納し、カバー16を閉めるだけで、面倒なコネクタの接続作業をしなくても、自動で収納されたデジタルカメラ18のデジタル入出力端子18Aに接続用コネクタ80を接続することができる。次に、前記のごとくデジタルカメラ18を収納したアクセサリパック10によるデジタルカメラ18の制御について説明する。

【0030】まず、図2に示す電源スイッチ64を図2上で上方にスライドさせると、デジタルカメラ18の電源が入り、再度電源スイッチ64を上方にスライドさせると、デジタルカメラ18の電源が切れる。モードダイヤル66は、撮影した画像を再生する再生モード、撮影状況に応じて露出とフォーカスを自動的に制御する通常(AUTO)撮影モード、フォーカスを遠景(約5m)に固定する遠景固定撮影モード、フォーカスを近景(約1.2m)に固定する近景固定撮影モード、及び10~70cmまでの近距離撮影ができるマクロ撮影モードの

うちのいずれかをダイヤル位置によって選択するものである。また、露出補正ボタン68を押しながらシャッターボタン36を半押しすると、+1.6Evの露出補正が行われる。

【0031】更に、このアクセサリパック本体12に内蔵されたストロボ装置28は、通常は低輝度又は逆光時に自動発光するオートモードになっているが、ストロボボタン70をワンプッシュする毎にオートモードから順次強制発光モード、発光停止モード、オートモードに切り換えられる。なお、上記露出補正ボタン68及びストロボボタン70は、それぞれ再生モード時に1コマ順送り及び1コマ逆送りを指令するボタンとして兼用されている。また、モードダイヤル66によってAUTO撮影モードが選択されているときに表示スイッチ72を押すと、液晶モニタ60にスルー画が表示され、液晶モニタ60を見ながら撮影を行うことができる。

【0032】次に、アクセサリパック12に収納されたデジタルカメラ18内のバッテリー(図示せず)を充電する場合、及び、デジタルカメラ18のスマートメディアを交換する場合について説明する。図3に示すように、撮影者はカバー開つまみ40を起こし、反時計回り方向に回してカバー16のロックを解除する。そして、カバー16を開ける。

【0033】このカバー16の開動作に伴って、カバー16の内側面に取り付けられたボス96が、仕切板84に形成された孔98から引き抜かれ、レバー94の押圧を解除する。そして、このレバー94の押圧が解除されることにより、接続用コネクタ80が引張バネ92の引張力で空間86内に退避し、デジタル入出力端子18Aとの接続が解除される。

【0034】撮影者は、カバー16を開けたアクセサリパック12からカメラ取付部材48(デジタルカメラ18)を手動で回転させ、カメラ収納部42からデジタルカメラ18を引き出す。引き出されたデジタルカメラ18は、デジタルカメラ18の左側面(デジタル入出力端子、ビデオ出力端子104、DC入力端子106、及びスマートメディアカバー108が設けられている側面)が、アクセサリパック本体12から露出するように傾いて停止するので、撮影者は、デジタルカメラ18をアクセサリパック10から完全に取り出さなくても、デジタルカメラ18のDC入力端子106にACアダプタのプラグ(図示せず)を差し込むことにより、デジタルカメラ18内のバッテリーを充電することができ、また、スマートメディアカバー108を開けてスマートメディア100の交換もできる。

【0035】更に、ビデオ出力端子104にビデオケーブルのプラグを接続することによりモニタテレビ等にビデオ出力することができる。また、デジタルカメラ18をアクセサリパック10から完全に取り出す場合には、カメラ取付ネジ50の操作が可能な位置までカメラ

(6)

特開平11-298774

取付部材48（デジタルカメラ18）を手動で回転させ、カメラ取付ネジ50を回転させてカメラ取付部材48からデジタルカメラ18を外す。

【0036】このように、アクセサリバック10のカバー16を開けるだけで、面倒なコネクタの取り外し作業をしなくても、自動でデジタルカメラ18のデジタル入出力端子18Aから接続用コネクタ80を引き抜くことができる。図6は本発明に係るカメラのアクセサリバックの第2の実施の形態を示す要部断面図である。

【0037】同図に示すように、第2の実施の形態のアクセサリバック110は、図4に示した第1の実施の形態のアクセサリバック10と比較して、接続用コネクタ112がアクセサリバック本体114の内側に設けられたカメラ収納部114Aの前面部に配置されている点で相違する。そして、このアクセサリバック110に収納されるデジタルカメラ118は、カメラ正面部にデジタル入出力端子118Aが設けられている点で、第1の実施の形態のアクセサリバック10に収納するデジタルカメラ18と相違する。

【0038】この第2の実施の形態のアクセサリバック110では、アクセサリバック本体114のカメラ収納部114Aにデジタルカメラ118を収納すると、その収納と同時に、デジタルカメラ118に設けられたデジタル入出力端子118Aが、カメラ収納部114Aに設けられている接続用コネクタ112に接続される。

【0039】したがって、本実施の形態のアクセサリバック110においても、デジタルカメラ118をアクセサリバック本体114のカメラ収納部114Aに収納し、カバー126を閉めるだけで、面倒なコネクタの接続作業をしなくても、自動で接続用コネクタ112を入出力端子118Aに接続することができる。図7は本発明に係るカメラのアクセサリバックの第3の実施の形態を示す要部断面図である。

【0040】同図に示すように、第2の実施の形態のアクセサリバック120は、図4に示した第1の実施の形態のアクセサリバック10と比較して、接続用コネクタ122がカバー124の内側に配置されている点で相違する。そして、このアクセサリバック120に収納されるデジタルカメラ126は、カメラ背面部にデジタル入出力端子126Aが設けられている点で、第1の実施の形態のアクセサリバック10に収納するデジタルカメラ18と相違する。

【0041】この第3の実施の形態のアクセサリバック120では、アクセサリバック本体128のカメラ収納部128Aにデジタルカメラ126を収納し、カバー124を閉めると、そのカバー124の内側に設けられた接続用コネクタ122がデジタルカメラ126に設けられたデジタル入出力端子126Aに接続される。し

たがって、本実施の形態のアクセサリバック120においても、面倒なコネクタの接続作業をしなくても、自動でデジタル入出力端子126Aに接続用コネクタ122を接続することができる。

【0042】上記第1の実施の形態では、カメラ取付部材は回転軸によってアクセサリバック本体に回転自在に配設されているが、これに限らず、カメラ取付部材をスライド自在に配設し、デジタルカメラをカメラ収納部に対して平行移動できるようにしてもよい。また、カメラ収納部に収納されるカメラは、デジタルカメラに限らず、銀塩カメラでもよく、この場合には、銀塩カメラをアクセサリバックから完全に取り出さずにフィルム交換ができるように構成する。

【0043】

【発明の効果】以上説明したように本発明に係るカメラのアクセサリバックによれば、面倒なコネクタの接続作業を行わずに、カメラをアクセサリバックに収納し、使用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るカメラのアクセサリバックを前方から見た斜視図

【図2】本発明に係るカメラのアクセサリバックを後方から見た斜視図

【図3】図2に示したアクセサリバックのカバーを開けた状態を示す斜視図

【図4】本発明に係るアクセサリバックの第1の実施の形態を示す要部断面図

【図5】第1の実施の形態のアクセサリバックにデジタルカメラを収納する手順を示す要部断面図

【図6】本発明に係るアクセサリバックの第2の実施の形態を示す要部断面図

【図7】本発明に係るアクセサリバックの第3の実施の形態を示す要部断面図

【符号の説明】

10、110、120…アクセサリバック

12、114、128…アクセサリバック本体

14…ヒンジ

16、116、124…カバー

18、118、126…デジタルカメラ

18A、118A、1126A…デジタル入出力端子

80、112、122…接続用コネクタ

82…コネクタ突出口

94…レバー

96…ボス

98…孔

100…スマートメディア（メモリーカード）

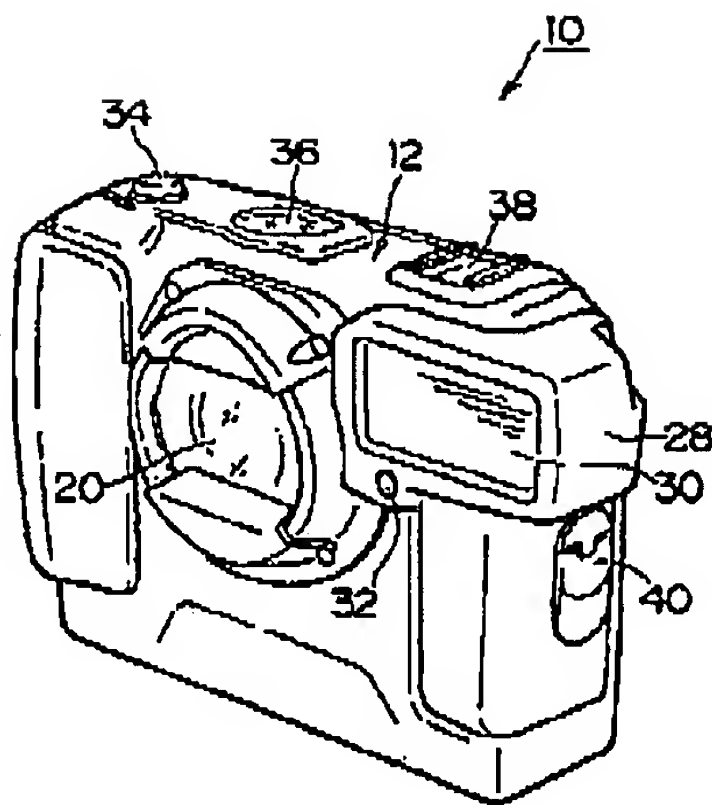
102…挿入口

108…スマートメディアカバー

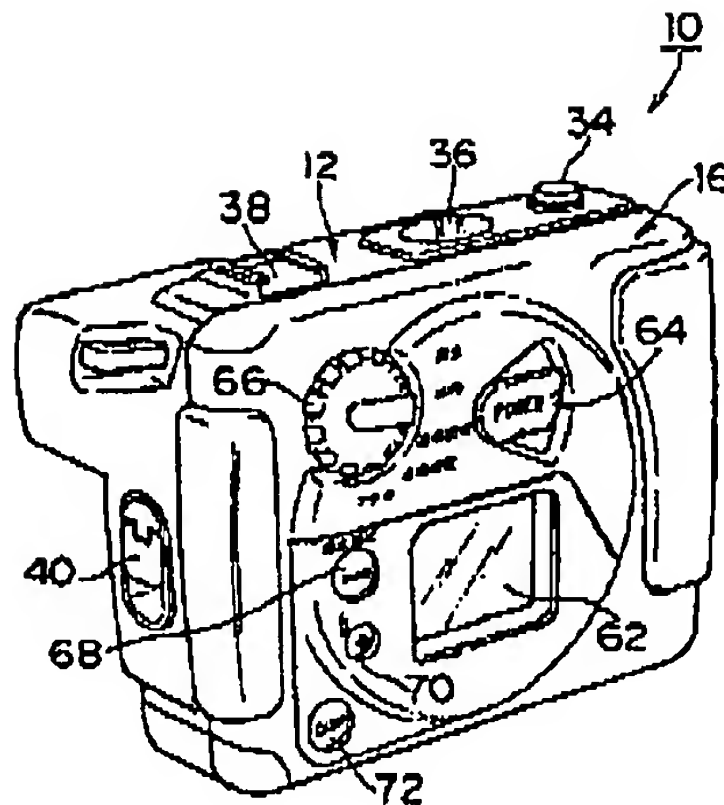
(7)

特開平11-298774

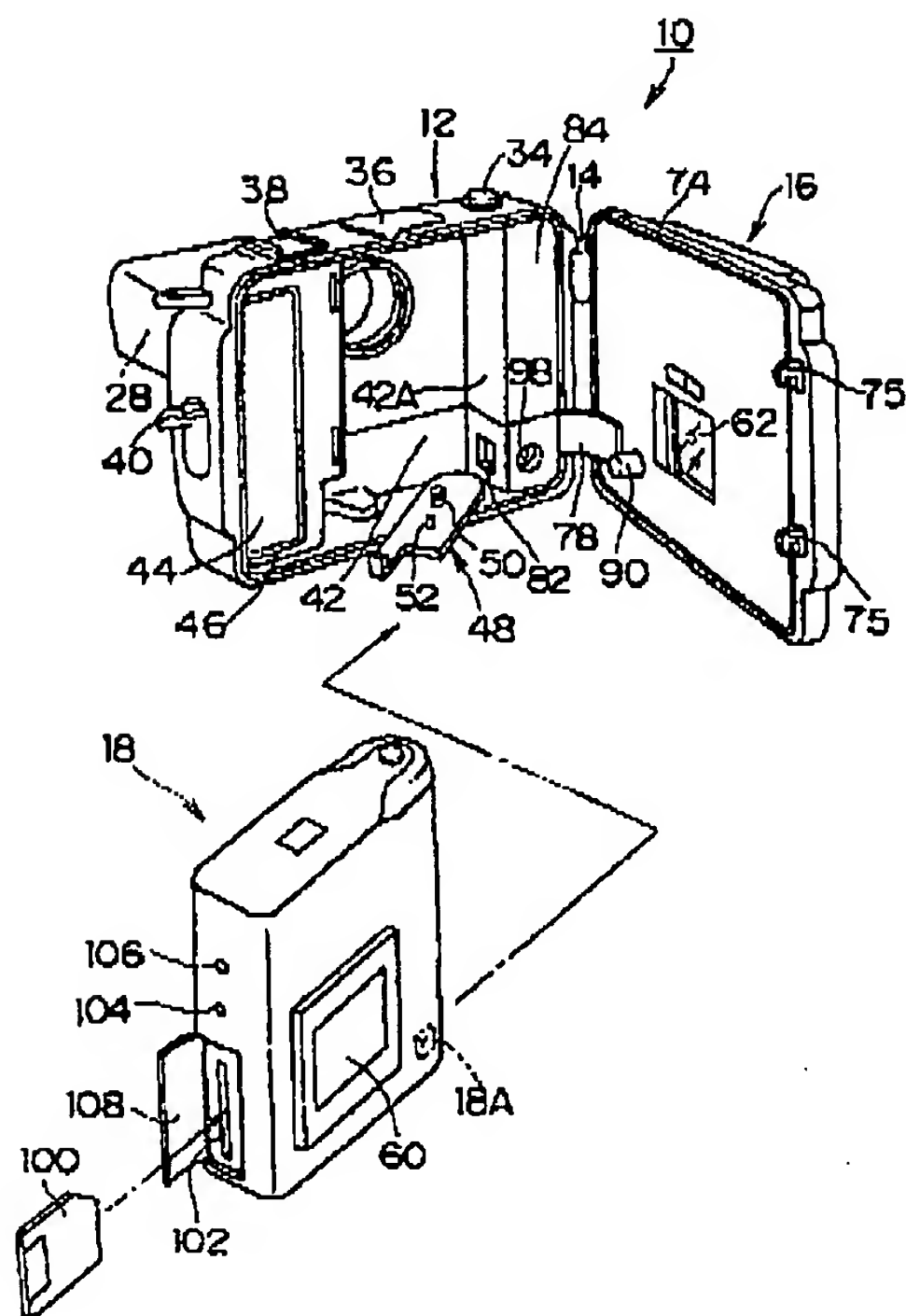
【図1】



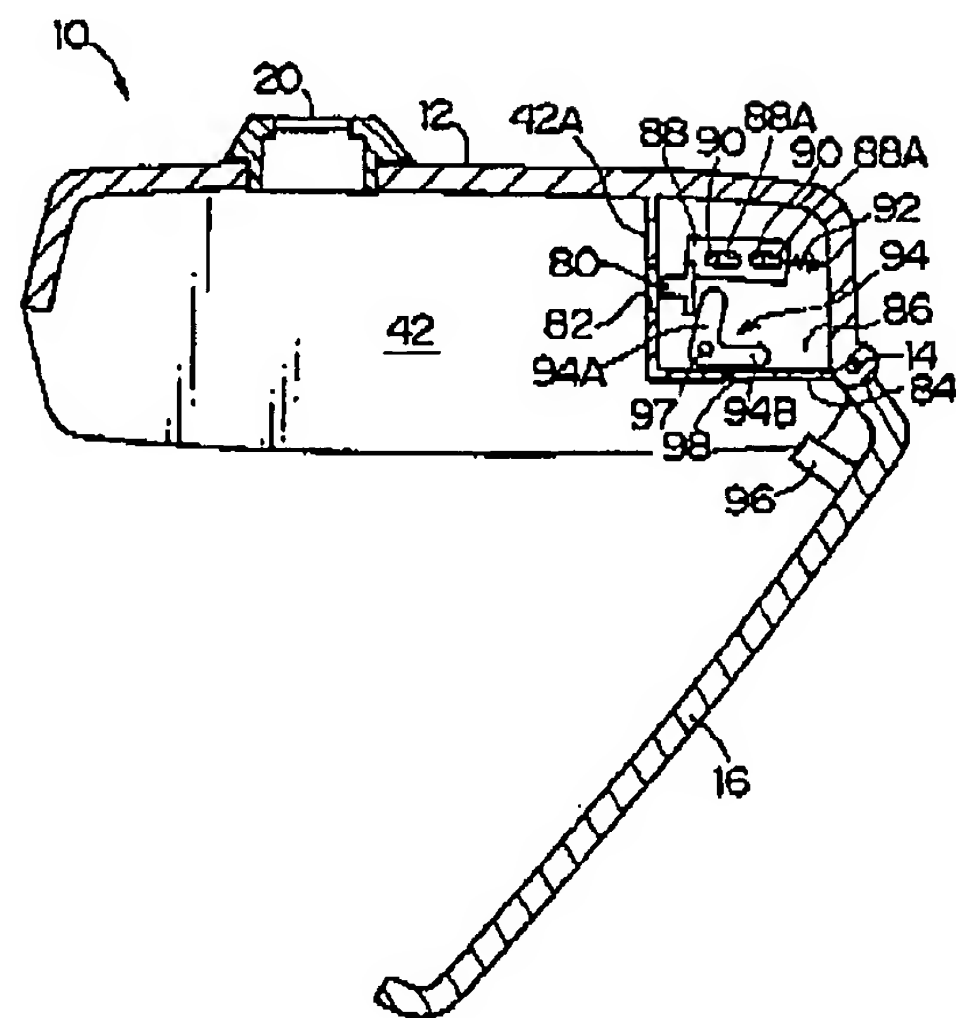
【図2】



【図3】



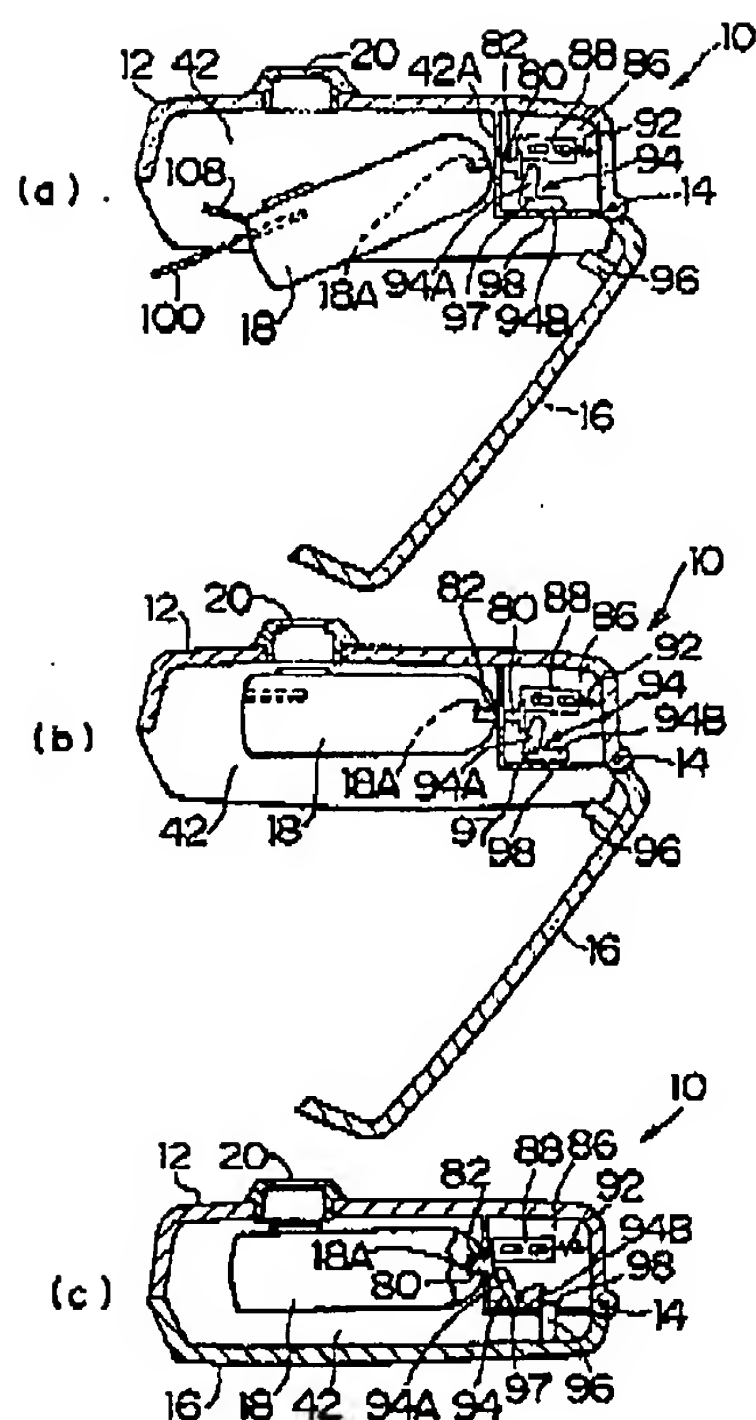
【図4】



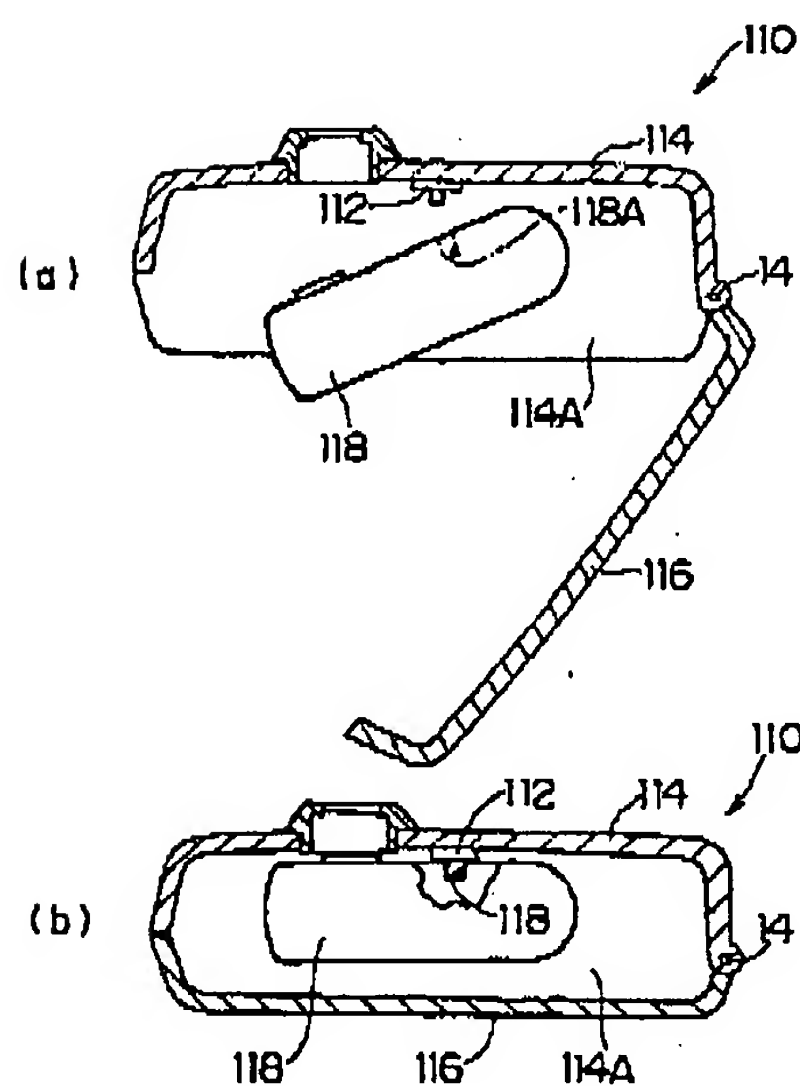
(8)

特開平11-298774

【图 5】



【图6】



【圖 7】

